

2012年10月31日 全3頁

2012年7-9月期 GDP 予測 ～前期比年率▲4.1%を予測

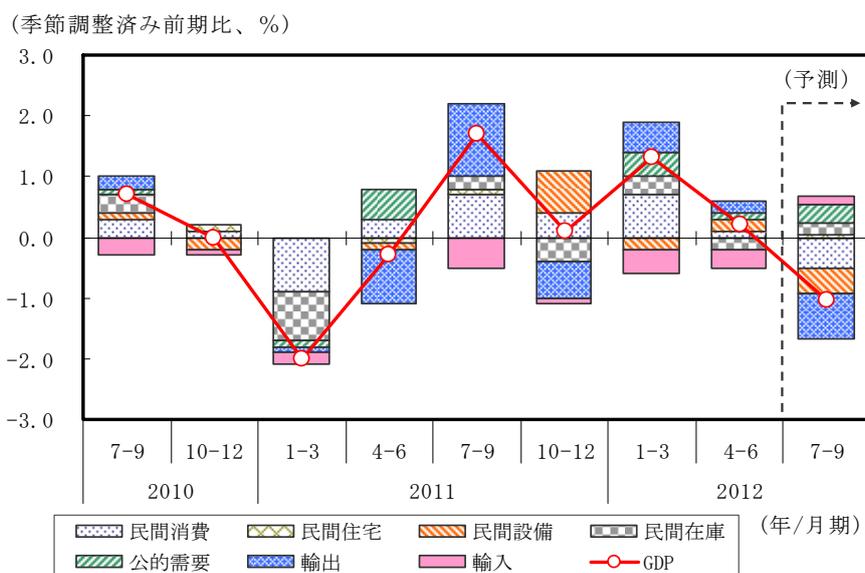
エコカー補助金の終了と海外経済の減速が経済を下押し

経済調査部
エコノミスト 齋藤 勉

[要約]

- 2012年7-9月期 GDP 1次速報（2012年11月12日に公表予定）では、実質 GDP が前期比▲1.0%（年率換算▲4.1%）と5四半期ぶりのマイナス成長になる見込みである。
- 個人消費はエコカー補助金終了の影響で、前期比▲0.8%と6四半期ぶりのマイナスになると予想する。また、設備投資は前期比▲3.1%と2四半期ぶりのマイナス、住宅投資は前期比+1.1%と2四半期連続のプラスになる見込み。公共投資は、前期比+3.6%と、引き続き本格化が期待される復興需要で3四半期連続のプラスを予想する。内需は6四半期ぶりのマイナス寄与となる見込み。
- 輸出は前期比▲4.8%と3四半期ぶりのマイナス、輸入は前期比▲0.9%と13四半期ぶりのマイナスとなる見込みである。海外経済の減速に伴う輸出の減少により、外需寄与度は前期比▲0.6%と見込んでいる。

図表1：実質 GDP の推移



(出所)内閣府統計より大和総研作成

2012年7-9月期実質GDP成長率は前期比年率▲4.1%と予想

2012年7-9月期GDP1次速報(2012年11月12日に公表予定)では、実質GDPが前期比▲1.0%(年率換算▲4.1%)と、5四半期ぶりのマイナス成長になる見込みである。

個人消費はエコカー補助金の終了に伴い6四半期ぶりのマイナス

個人消費は前期比▲0.8%と6四半期ぶりのマイナスになる見込み。2012年に入って以降、消費を押し上げていたエコカー補助金は、9月21日に終了し、7-9月期の自動車販売台数は季節調整済み前期比で▲12.7%減少した(季節調整は大和総研)。自動車以外の消費についても、夏季賞与の減少などの影響から弱含んでいる。震災以降堅調な推移を続けていた旅行消費も上昇基調に陰りが見られるなど低調であり、7-9月期の消費は全面的に減少する見込み。

設備投資が弱含む中、公共投資は引き続き増加が続く見込み

設備投資は前期比▲3.1%と、2四半期ぶりマイナスになると予測する。足下の海外経済の減速に伴う輸出の減少を受けて、国内の生産活動は弱含んでおり、企業の設備投資行動にも影響を与えている。長引く円高の影響で企業は国内投資に慎重になっており、設備投資は低調な推移が続く見込み。公共投資に関しては、東北地方の復興需要が徐々に進捗していることから、前期比+3.6%と3四半期連続のプラスになる見通し。住宅投資は前期比+1.1%と、2四半期連続の増加を見込む。被災地では住宅再建の動きが続いている。被災地以外の地域では、「復興支援・住宅エコポイント」の受付が7月4日をもって終了したが、急激な住宅着工の減少は見られていないことなどから増加が続く。

海外経済の減速による輸出の減少幅が大きい

輸出は前期比▲4.8%と3四半期ぶりの減少となる見込み。欧州、中国向け輸出の減少が続いていることに加えて、足下では米国向けの輸出も弱含んでおり、大幅なマイナスとなった。輸入は前期比▲0.9%と13四半期ぶりの減少となる見込みである。大幅に減少した輸出の影響で、外需寄与度は前期比▲0.6%ptを見込む。

エコカー補助金の終了と海外経済の減速が経済を下押し

7-9月期のGDPは、エコカー補助金の終了に伴う個人消費の減少と、海外経済の減速に伴う輸出の減少が主因となって、5四半期ぶりのマイナスとなる見込みである。個人消費、輸出は当面の間低調な推移が続くとみられており、経済の本格的な持ち直しは、海外経済の回復を待つ必要がある。

図表 2 : 2012 年 7-9 月期 GDP の予測表

		2011		2012		
		7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 (予想)
実質国内総生産 (実質GDP)	前期比%	1.7	0.1	1.3	0.2	▲ 1.0
	前期比年率%	6.9	0.3	5.3	0.7	▲ 4.1
民間最終消費支出	前期比%	1.1	0.7	1.2	0.1	▲ 0.8
民間住宅	前期比%	4.8	0.1	▲ 1.6	0.9	1.1
民間企業設備	前期比%	0.3	5.5	▲ 1.6	1.4	▲ 3.1
民間在庫品増加	前期比寄与度%pt	0.2	▲ 0.4	0.3	▲ 0.2	0.2
政府最終消費支出	前期比%	0.2	0.4	1.1	0.2	0.6
公的固定資本形成	前期比%	▲ 1.1	▲ 1.0	3.6	1.8	3.6
財貨・サービスの輸出	前期比%	7.8	▲ 3.6	3.4	1.2	▲ 4.8
財貨・サービスの輸入	前期比%	3.4	1.0	2.2	1.6	▲ 0.9
内需寄与度	前期比寄与度%pt	1.0	0.8	1.2	0.2	▲ 0.4
外需寄与度	前期比寄与度%pt	0.7	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1	▲ 0.6
名目GDP	前期比%	1.6	▲ 0.3	1.3	▲ 0.3	▲ 1.0
	前期比年率%	6.4	▲ 1.1	5.5	▲ 1.0	▲ 3.8
GDPデフレーター	前年比%	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.8

(注1) 寄与度の合計は四捨五入の関係上、GDP成長率と必ずしも一致しない。

(注2) GDPデフレーターのみ原系列、その他は季節調整値。

(出所) 内閣府統計より大和総研作成